

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 11 日現在

機関番号：32404

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24520582

研究課題名(和文) 命綱としての日本語－緊急時コミュニケーションの社会言語学的総合研究－

研究課題名(英文) Japanese as a Lifeline -Social Linguistic Comprehensive Studies of Communication during Emergency-

研究代表者

山下 暁美 (Yamashita, Akemi)

明海大学・外国語学部・客員教授

研究者番号：10245029

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：『2014(平成26)年度版災害支援カード(もっとやさしい日本語訳付) Words to use in an Emergency』(制作者山下暁美・井上史雄・高丸圭一・中西太郎・津田智史・椎名渉子)、『平成25年度版災害時命綱カード・共通語版(ひらがな表記付)』、『平成25年度版災害時命綱カード(岩手(盛岡)方言訳付)』、『平成25年度版災害時命綱カード(宮城方言訳付)』、『平成25年度版災害時命綱カード(福島方言訳付)』を発行した。  
科学研究費補助金報告書『命綱としての日本語－緊急時コミュニケーションの社会言語学的総合研究－』を発行するとともに国内外の学会で研究発表を行った。

研究成果の概要(英文)：Publication of "Words to use in an Emergency with the Easier Japanese translations (2014)", "Words to use in an Emergency with Hiragana(2013)", "Words to use in an Emergency with Iwate(Morioka)dialect(2013)", "Words to use in an Emergency with Miyagi dialect(2013)", "Words to use in an Emergency with Fukushima dialect(2013)". Publication of "Japanese as a Lifeline-Social Linguistic Comprehensive Studies of Communication during Emergency-(2013)" and Presentations on same theme at national and international academic conferences.

研究分野：日本語教育学 社会言語学

キーワード：日本語教育 災害時命綱カード 在日外国人 もっとやさしい日本語 emergency lifeline communication



(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 9 件)

(1) 山下暁美 2014 「命綱としての日本語 — 「災害時命綱カード」の提唱—」『応用言語学研究』No.16 pp.57-74

(2) 山下暁美 2013 「災害時の日本語—東北3県における在日外国人調査結果をもとに—」『東日本大震災において危機的状況が危惧される方言の実態に関する調査研究 (岩手県)』文化庁委託事業報告書 pp.291-307

(3) 山下暁美 2013 「災害時の言語対策について」科研費報告書『命綱としての日本語—緊急時コミュニケーションの社会言語学的総合研究—』 pp.42-52

(4) 井上史雄 2013 「災害時の言語景観の問題点—避難所表示の多様性—」科研費報告書『命綱としての日本語—緊急時コミュニケーションの社会言語学的総合研究—』 pp.28-41

(5) 中川祐治 2013 「外国人住民からみた方言と災害—福島県在住外国人へのインタビューをもとに—」科研費報告書『命綱としての日本語—緊急時コミュニケーションの社会言語学的総合研究—』 pp.53-68

(6) 中西太郎 2013 「外国人が言い換えた「やさしい日本語」—茨城県・千葉県におけるインタビューを通して—」科研費報告書『命綱としての日本語—緊急時コミュニケーションの社会言語学的総合研究—』 pp.69-82

(7) 沢野美由紀 2013 「災害時語彙の理解度と情報収集方法から考えた外国人住民への日本語支援」科研費報告書『命綱としての日本語—緊急時コミュニケーションの社会言語学的総合研究—』 pp.83-93

(8) 張海燕 2013 「公共施設の言語使用実態と考察—東京 23 区を中心に—」科研費報告書『命綱としての日本語—緊急時コミュニケーションの社会言語学的総合研究—』 pp.94-103

(9) 山下暁美 2012 「災害時の「やさしい日本語」再考」『東呉大学日本語文学系創系四十周年紀年 2012 年日語教學國際會議 大會手冊』東呉大学 pp. 1-13

[学会発表] (計 4 件)

(1) 山下暁美 2014 「災害支援カード「もっとやさしい日本語訳付」に関する考察」平成 26 年度日本語教育学会研究集会 第 7 回四国地区 鳴門教育大学(2014. 11. 8)

(2) 津田智史・椎名涉子・山下暁美・井上史雄・高丸圭一・中西太郎 2014 「「もっとやさしい日本語」の提案」韓国日本語學會第 30 回國際學術發表大會 (2014. 9. 20)

(3) 山下暁美 2013 「定住外国人の身を守る日本語環境は万全か—命綱カードの作成にむけて—」『国立民族学博物館平成 25 年度第 1 回共同研究会「日本における移民言語の基礎的研究」研究発表会』(2013. 7. 19)

(4) 山下暁美 2012 「災害時の「やさしい日本語」再考」東呉大学日本語文学系創系四十周年紀年 2012 年日語教學國際會議 東呉大学 (2012. 4. 28)

[図書] (計 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況 (計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
取得年月日：  
国内外の別：

[その他]

(1) 「平成 26 年度版 災害時命綱カード もっとやさしい日本語訳付」発行 (2014 年 10 月) 制作者：山下暁美 (明海大学)・井上史雄 (国立国語研究所)・高丸圭一 (宇都宮共和国)・中西太郎 (明海大学)・津田智史 (日本学術振興会特別研究員)・椎名涉子 (東北大学)

(2) 「平成 25 年度災害時命綱カード・岩手 (盛岡) 方言版 災害時命綱カード」発行 (2014 年 1 月) 制作者代表：山下暁美 (明海大学)・方言訳協力：竹田晃子 (国立国語研究所特認助教)

(3) 「平成 25 年度災害時命綱カード・宮城方言版」発行 (2014 年 1 月) 制作者代表：山下暁美 (明海大学)・方言訳協力：武田拓 (仙台高等専門学校准教授)

(4) 「平成 25 年度災害時命綱カード・福島方言版」発行 (2014 年 1 月) 制作者代表：山下暁美・方言訳協力：小林初夫 (宮城教育大学非常勤講師、福島県福島市立岡山小学校教諭)

(5) 「平成 25 年度災害時命綱カード・共通語版」発行 (2014 年 1 月) 制作者代表：山下暁美 (明海大学)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山下暁美 (YAMASHITA, Akemi)  
明海大学・外国語学部・客員教授  
研究者番号：10245029

(2) 研究分担者

井上史雄 (INOUE, Fumio)  
国立国語研究所・客員教授  
研究者番号：40011332

(3) 連携研究者

- ① 半沢康 (HANZAWA, Yasushi)  
福島大学・人間発達文化学類・教授  
研究者番号：10254822
- ② 中川祐治 (NAKAGAWA, Yuji)  
福島大学・人間発達文化学類・准教授  
研究者番号：70352424
- ③ 高丸圭一  
宇都宮共和大学・シティライフ学部・准教授  
研究者番号：60383121
- ④ 田中宣廣  
岩手県立大学宮古短期大学部・准教授  
研究者番号：60289725
- ⑤ 中西太郎  
明海大学・外国語学部・講師  
研究者番号：30613666
- ⑥ 津田智史  
国立国語研究所・研究員  
研究者番号：30726443

(4) 研究協力者

椎名渉子・沢野美由紀・竹田晃子・武田拓・  
小林初夫・林青樺・ヤン敏鎬・金賢珠・胡曉  
睿・上村健太郎・張海燕・高原・永島恭子・  
高須賀萌・胡中華